



2018年11月29日

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
TC協会会員各位

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
代表理事 山崎 敏正

標準制作工程検討ワーキンググループ 委員登録のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は当協会の活動に様々なご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、2011年からトピック指向をテーマに活動してきたトピック指向取り組み検討WGでは、活動結果と説明会等で収集した意見に基づき、検討を続けてきた新しい標準制作工程の適用対象をトピック指向に限らない方針に転換することになりました。このため、ワーキンググループの名称も改め、トピック指向を含めた「製品・サポート情報」全般を対象とする検討活動として、2019年から再始動します。

つきましては、下記要領にて皆様から標準制作工程検討WG委員を募集いたします。紙からネットへとその発信の主体が切り換えられるなかで必要となる技術の習得を、関連部門とのコミュニケーションの円滑化に欠かせない「標準制作工程」の視点で取得する場としても活用ください。

ご多忙中、恐縮ではございますが、主旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

敬具

記

■登録いただく委員

標準制作工程検討ワーキンググループ

■委員の任期

2019年1月～2019年12月を予定

■委員の役割

「トピック指向」を「コンテキスト指向」と組み合わせ、ネットで発信する情報を含めた「製品・サポート情報」全般を対象に、その企画・設計・執筆およびその成果物の検証に必要な知識と技術を、CMSの利用も想定して明確にし、これから求められるTC人材の育成を促進する。

■委員会の開催頻度

TCシンポジウム2019の開催時期(8月と10月)を除き、毎月1回程度

■概略日程

●前期(1月～3月)

- ・標準制作工程の説明会開催と、その反応に基づく修正
- ・日本語スタイルガイドを対象とした旧知識体系との差異分析(トピック指向分離→一体化)
- ・上記を反映した、標準制作工程公開(ネット上)
- ・標準制作工程を前提とした育成プログラムの企画

●中期(4月～10月)

- ・TCシンポジウムにおける標準制作工程に関する情報発信
- ・その反応に基づく修正
- ・制作実務編を対象とした、旧知識体系との差異の分析(DTP前提→CMS前提)

●後期(11月～12月)

- ・品質追求編を対象とした、旧知識体系との差異の分析

●通期

解析技術に加え、ドイツが先んじている次世代コンテンツ管理技術の知見の取り込みを始める。

■申し込み締切日

別紙のWG委員登録用紙に必要事項を記入し、12月21日(金)までにFAX(03-3368-5087)またはメール添付(tc-info@jtca.org)にてTC協会事務局までご連絡ください。

以上

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

〒169-0074 東京都新宿区北新宿4-22-15

tel.03-3368-4607 fax.03-3368-5087

web:www.jtca.org



2018 年 月 日

TC 協会事務局 行(FAX:03-3368-5087)
またはメール(tc-info@jtca.org)にてご連絡ください。

標準制作工程検討 WG 委員登録用紙

標準制作工程検討 WG 委員として、次のメンバーを登録いたします。

会員番号	
登録者氏名	
会社名	
部署名	
住所	〒
電話番号	
FAX番号	
E-Mail	

第1回 WG は、2019年1月23日～25日のいずれかでの開催を予定しています。
委員には決定次第連絡いたします。